

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 1月

令和5年1月1日の推計人口 1,279,871人
世帯数 557,923世帯

参考：R2.10.1 現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和5年1月1日現在の推計人口は、1,279,871人で、前月(1,281,111)に比べ1,240人の減少となった。

人口増の市部はなかった。長崎市(318)、佐世保市(282)、南島原市(77)、雲仙市(71)、西海市(58)、五島市(57)、平戸市(49)、諫早市(48)、壱岐市(45)、対馬市(40)、島原市(39)、松浦市(23)、大村市(13)の13市で減少した。

郡部では、波佐見町(11)、佐々町(9)の2町で増加し、川棚町(41)、長与町(35)、新上五島町(35)、時津町(21)、東彼杵町(6)、小値賀町(2)の6町で減少した。

自然動態は、出生数675人、死亡数1,756人で1,081人の減少、社会動態は、転入者数2,445人(県内転入を含む)、転出者2,604人(県内転出を含む)で、159人の減少となった。

2 世帯数

令和5年1月1日現在の世帯数は、557,923世帯で前月(558,327)に比べ404世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計 = R2 国勢調査確定数 + 住民基本台帳
(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…11月

1人当たり現金給与総額 288,822円
対前月比 19.3%増加
対前年同月比 10.8%増加

1 賃金

11月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は288,822円で、前月に比べ19.3%増加し、前年同月に比べ10.8%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は245,777円で、前月に比べ2.4%増加し、前年同月に比べ0.4%増加した。

特別給与額は43,045円で、前年同月に比べ、26,924円増加した。

2 労働時間

11月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は147.6時間で、前月に比べ1.7%増加し、前年同月に比べ0.9%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は135.8時間で前月に比べ1.9%増加し、前年同月と比べ、1.0%減少した。

所定外労働時間数は11.8時間で、前月に比べ1.8%増加し、前年同月に比べ1.9%増加した。

3 雇用

11月の常用労働者数は213,173人で、前月に比べ、0.2%増加し、前年同月に比べ0.4%減少した。

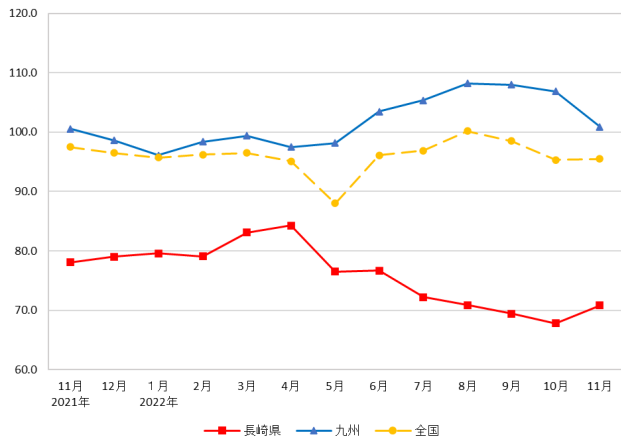
【鉱工業生産指数】…………… 11月

令和4年11月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数	前月比 (%)	原指数	前年同
				月比 (%)
長崎県	70.8	4.4	72.3	9.3
九州	100.9	5.4	107.1	0.3
全国	95.5	0.2	99.0	0.9

鉱工業生産指数の推移【季節調整指数】



2022年11月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が70.8で対前月比は4.4%の増、原指数は72.3で対前年同月比は9.3%の減となった。

業種別にみると、食料品工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業など6業種が上昇し、繊維工業、はん用・生産用機械工業、電気機械工業など7業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
食料品工業	12.8	肉製品(部分肉)
電子部品・デバイス工業	4.5	半導体集積回路
輸送機械工業	2.6	新造船

主な低下業種

業種	前月比 (%)	低下に寄与した主な品目
繊維工業	14.9	ニット製下着・補整着・寝着類
はん用・生産用機械工業	10.1	クレーン
電気機械工業	2.8	交流電動機

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 12月

総合指数(R2=100)

103.8

対前月比 (%)

0.1

対前年同月比 (%)

+3.7

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、103.8である。

前月比0.1%で、主な上昇要因は「光熱・水道」の+1.4%、「教養娯楽」の+0.3%であり、主な下落要因は「食料」の0.9%、「被服及び履物」の0.9%である。

前年同月比は、8月は+3.1%、9月は+3.0%、10月は+3.7%、11月は+4.1%と推移した後、12月は+3.7%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.7で前月比+0.1%の上昇であり、前年同月比は+3.7%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

光熱・水道	1.4 %
教養娯楽	0.3 %
家具・家事用品	0.3 %

同水準の費目

住居	±0.0 %
教育	±0.0 %
諸雑費	±0.0 %

下落した費目

食料	0.9 %
被服及び履物	0.9 %
保健医療	0.1 %
交通・通信	0.1 %

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…………… 12月

消費支出(一世帯当たり) 314,883円

前月比 11,133円減 (3.4%減)

令和4年12月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は314,883円で、前月比3.4%の減、前年同月比は1.3%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は43.1%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。